

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年																
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月 ~6日	6月 ~13日	6月 ~20日	6月 ~27日	7月 ~4日	7月 ~11日	7月 ~18日	7月 ~25日	8月 ~1日	8月 ~8日	8月 ~15日	8月 ~22日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	114	65	137	114	169	32	39	20	24	37	39	30	16	34	18	10 (11)	14
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	39	25	52	61	55	12	23	17	12	24	13	19	7	16	9	2	7
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	6	5	3	1	5	2	1	1	4	4	3	2	1	2	11	1	4
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	14	16	33	19	39	6	9	5	5	8	4	3	2	0	4	1	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	10	10	15	25	31	6	4	1	2	5	6	3	0	5	5	2	5
腸炎ピリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	2	1	3	4	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	4	5	6	11	13	2	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0

\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。  
\* その他の2件はアエロモナス、ビブリオ フルビアリスでした。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第33週(8月16日~8月22日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	2	結核	2			1			1	
三類	0	発生なし	0							
四類	3	日本紅斑熱	2			1			1	
		レジオネラ症	1					1		
五類	3	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1			1				
		梅毒	2					2		
新型インフルエンザ 等感染症	2289	新型コロナウイルス感染症	2289	241	197	122	24	1115	94	496

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

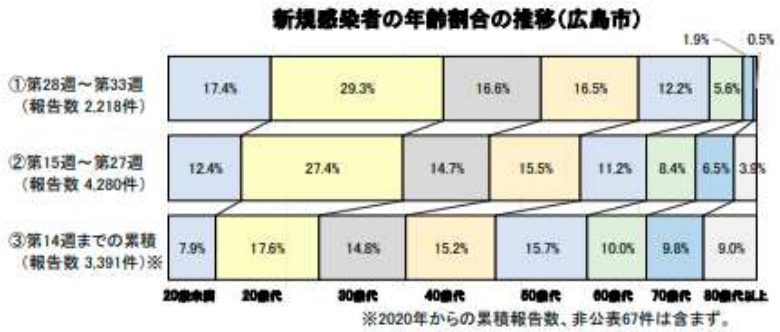
● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

新型コロナウイルス感染症

1日の新規感染者数は、過去最多の205件(8月20日発表)を記録し、第33週は1,115件の報告がありました。これは、感染拡大地域へ旅行した方や感染拡大地域から帰省した方等から家族や知人へ、職場の同僚へと、急速に広がっていることが主な要因と考えられます。

また、感染者の最近の傾向として、60歳代以上の方の割合が減少し、一方で、20歳未満の方の割合が増加しています。

これ以上の感染拡大を防止するために、基本的な感染防止対策に加えて、外出の半減やテレワーク等による出勤者の削減などの対策を徹底しましょう。



【参考】新型コロナウイルス感染症対策に関する市長メッセージ(8月19日)(広島市)  
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/239830.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
フィレン	インフルエンザ	-	-	0.03			小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.11		
小児科	咽頭結膜熱	1	0.04	0.35			小児科	RSウイルス感染症	40	1.67	0.67		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	0.50	1.03				眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	37	1.54	2.54			眼科		流行性角結膜炎	3	0.38	0.69	
	水痘	2	0.08	0.27				基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	3	0.13	1.06			無菌性髄膜炎		-	-	-		
	伝染性紅斑	-	-	0.07			マイコプラズマ肺炎		-	-	0.29		
	突発性発しん	5	0.21	0.28			クラミジア肺炎(オウム病を除く)		-	-	-		
	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.38			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03			

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

前週(第32週)は、お盆の休診の影響で、報告数が少なくなっている可能性があり、今週(第33週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	レジオネラ症	1	25	60歳代
5	梅毒	2	41	40歳代・2人